

## 気候情報

### 2019年7月の日本の天候

- 東・西日本の気温は低かった
- 東・西日本太平洋側の降水量はかなり多かった
- 北・東日本日本海側を除いて全国的に日照時間は少なく、西日本太平洋側ではかなり少なかった

#### 7月の天気概況

月のはじめから下旬前半までは梅雨前線やオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で、曇りや雨の日が多かったため、全国的に日照時間が少なく、東日本では2007年以来12年ぶり、西日本では2015年以来4年ぶりに月平均気温が低くなった。また、梅雨前線が本州の南岸付近に停滞することが多かったことや、18日から20日にかけて東シナ海を北上した台風第5号、27日に三重県に上陸した台風第6号の影響で、東・西日本太平洋側の降水量はかなり多かった。

**上旬：**梅雨前線は日本の南海上から本州の南岸に停滞したため、沖縄・奄美や西日本太平洋側を中心に所々で大雨となった。気温は、東・西日本では曇りや雨の日が多かったことや寒気の影響で低くなった。

旬平均気温は、東・西日本で低く、北日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、東・西日本太平洋側で多かった。一方、北日本と東日本日本海側で少なく、西日本日本海側で平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と沖縄・奄美ではかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、北日本日本海側で多く、北日本太平洋側、東・西日本日本海側で平年並だった。

**中旬：**梅雨前線が東・西日本付近に停滞する日が多く、18日から20日にかけては台風第5号が東シナ海を北上した。このため、北日本太平洋側から東・西日本にかけては曇りや雨の日が多く、20日には長崎県の五島と対馬市に大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となった。また、太平洋側では日照時間がかなり少なくなった所があった。なお、奄美地方は7月13日頃に梅雨明けしたとみられる（速報値）。

旬平均気温は、東・西日本で低く、北日本、沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、西日本太平洋側と沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側で多かった。一方、北・東日本日本海側で少なく、北日本太平洋側で平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本太平洋側、東・西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

**下旬：**台風第6号が27日に三重県南部に上陸しその後熱帯低気圧に変わって東日本を東進したため、所々

で大雨となった。旬の終わり頃は太平洋高気圧に覆われ全国的に晴れて気温が上がった。なお、九州南部、九州北部、四国、近畿、北陸の各地方では24日頃、中国地方は25日頃、東海地方は28日頃、関東甲信地方は29日頃、東北南部は30日頃、東北北部は31日頃に梅雨明けしたとみられる（速報値）。

旬平均気温は、北日本ではかなり高く、東日本、沖縄・奄美で高かった。西日本では平年並だった。

旬降水量は、東日本太平洋側で多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。北・東日本日本海側と西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本日本海側、東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多く、北・西日本太平洋側、東日本日本海側で平年並だった。

#### 7月の気候統計

**月平均気温：**東・西日本で低かった。一方、北日本では高く、沖縄・奄美では平年並だった。

**月降水量：**東・西日本太平洋側ではかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本と東日本日本海側では少なく、西日本日本海側では平年並だった。

**月間日照時間：**西日本太平洋側ではかなり少なく、北・東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。北・東日本日本海側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 7月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）  
八丈島（東京都）763.0など2地点
- ・月間日照時間少ない方から（h）  
日光（栃木県）44.8など2地点

#### 2019年7月の平年差（比）図

